

家庭でできる「節電対策」

削減率の合計が **15%**をこえるように節電に取り組みましょう！

また、エアコンの控え過ぎによる「熱中症」などに気をつけて、無理のない範囲で節電しましょう。

節電対策メニュー		節電効果	
		削減率	削減消費電力
 エアコン	室温28℃を心がけましょう。	10%	130W
	「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげましょう。エアコンの節電になります。	10% ※設定温度を2℃下げた場合	120W
	無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。	50%	600W
 冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。	2%	25W
 照 明	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	5%	60W
 テレビ	省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。	2%	25W
 温水洗浄便座 (暖房便座)	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。	1%未満	5W
	上記の機能がなければコンセントからプラグを抜いておきましょう。	※いずれかの対策により	
 ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	2%	25W
 待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜いておきましょう。	2%	25W



一人ひとりが取り組みれば、
きっと15%削減も達成できると信じてるよ！

電力不足が起きると

東京電力によると、今夏の管内の最大電力需要は約5、500万キロワットと想定されています。しかし、猛暑だった昨年の夏の電力ピークは5、999万キロワットにのびりました。このため、今年の夏も昨年同様に暑いことを想定すると、更に電力需要は伸びる可能性があります。

こうした中、東電は、5月13日に経済産業省を通じて、7月末時点で最大で約5、380万キロワットの供給が可能となることを発表しました。

市の取り組み

市でもこうした危機的な状況に対し、市庁舎をはじめとした公共施設における節電目標を「前年同月比20%削減」と定めて取り組んでいくことを決定しました。なお、この取り組みにともない、6月1日から従来の開庁時間を15分間短縮し、8時30分から17時15分までとします。なお、水曜日の市民生活課・税務課の窓口業務につきましては、今までどおり19時まで行います。

節電の実施にともない、公共施設をご利用いただく市民の皆様にはご不便をおかけすることになりますが、ぜひご理解とご協力をお願いします。

電気の使用量は、一日の中でも常に変化します。夏場では、エアコンなどの消費電力が多くなる9時から20時までの電力使用量がピークを迎えます。こうした時に、電力供給量を超えると、大規模停電が発生することが予想されます。

このため、政府では、今夏の電力需給対策を決めました。東京電力管内では、少なくとも1、000万キロワット以上の需要抑制を目標とし、契約電力500キロワット以上の大口需要家から一般家庭まで、一律15%を削減の目標とすることを決定しました。

「節電しましょう。」

